

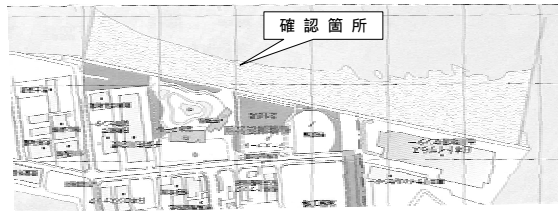
# 植生(海浜植物)の調査

報告・参考

船橋三番瀬海浜公園から緑化試験に使用する植物の移植を予定しているため、公園の植生(海浜植物)を調査した。

## 1. 確認箇所

船橋三番瀬海浜公園の海浜部を確認した。



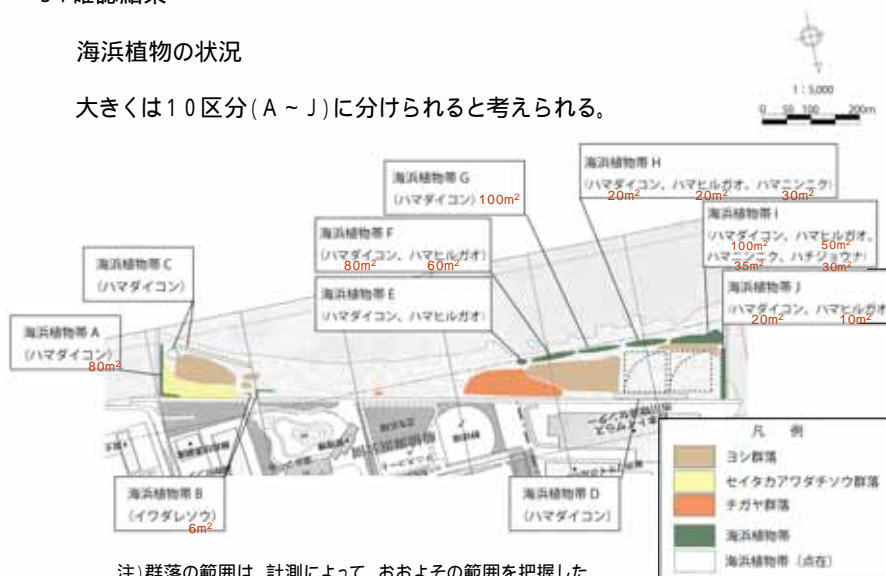
## 2. 確認日時

平成20年6月2日: 10:00 ~ 17:00

## 3. 確認結果

海浜植物の状況

大きくは10区分(A~J)に分けられると考えられる。



注) 群落の範囲は、計測によって、おおその範囲を把握した。  
群落でない場合は、未計測。

### 海浜植物の分布規模(株の数)

	群落として確認できた主な海浜植物				
	ハマダイコン	ハマヒルガオ	ハマニンニク	ハチジョウナ	イワダレソウ
海浜植物帯A	40				
海浜植物帯B					24
海浜植物帯C	12				
海浜植物帯D	18				
海浜植物帯E	9	7			
海浜植物帯F	40	120			
海浜植物帯G	50				
海浜植物帯H	10	40	90		
海浜植物帯I	50	100	105	90	
海浜植物帯J	24	15			

注：海浜植物の株数の計算は、現地の混生状況から以下の方法によって行った。

海浜植物帯 A = ハマダイコン2株 / m<sup>2</sup>、  
 海浜植物帯 B = イワダレソウ6株 / m<sup>2</sup>、  
 海浜植物帯 C = ハマダイコンは実数、  
 海浜植物帯 D = ハマダイコンは実数、  
 海浜植物帯 E = ハマダイコン、ハマヒルガオは実数、  
 海浜植物帯 F = ハマダイコン・ハマヒルガオ2株 / m<sup>2</sup>、  
 海浜植物帯 G = ハマダイコン2株 / m<sup>2</sup>、  
 海浜植物帯 H = ハマダイコン・ハマヒルガオ2株 / m<sup>2</sup>、ハマニンニク3株 / m<sup>2</sup>、  
 海浜植物帯 I = ハマダイコン・ハマヒルガオ2株 / m<sup>2</sup>、ハマニンニク・ハチジョウナ3株 / m<sup>2</sup>、  
 海浜植物帯 J = ハマダイコン、ハマヒルガオは実数、

3

### まとめ、考察

#### 全体のまとめ

- ・ハマダイコン、ハマヒルガオは群生しており株数も相当数あった。
- ・イワダレソウは群落が小さく株数も少なかった。
- ・ハマボスはごく僅かしか生育していなかった。
- ・ハマボウフウが今回1株確認された。

#### 移植について

- ・ハマダイコン、ハマヒルガオは群落に影響のない程度での移植は可能。
- ・イワダレソウ、ハマボス、ハマボウフウは現状の群落規模が小さく、現地にて株をとることは現況群落に対するダメージが大きいと考えられるので移植は避けるべき。
- ・ハマニンニク、ハチジョウナも株数が十分とは言えず株取りは避けた方がよいと思われる。

#### 種取りについて

- ・ハマダイコン、ハマニンニク、ハマヒルガオは、現在種子が結実しており、種子の採取が容易な状況であることから、種子が熟す6月末から7月中旬にかけて種子の採取を行うことが望ましいと思われる。
- ・ハマボウフウ、ハマボスは、結実期である8月から秋にかけて少量の種を取ることが望ましい。

4

4. 主な確認種の写真

海浜植物



イワダレソウ



スズメノギナタ(帰化植物)



コウボウシバ



コマツヨイグサ  
(帰化植物)



チガヤ  
(フシゲチガヤ)



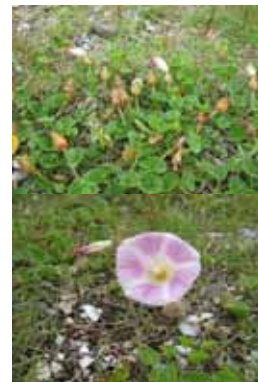
ハチジョウナ



ホソバナハマアカザ



ハマダイコン



ハマヒルガオ



ハマニンニク(テンキグサ)



ハマボウフウ



ムギクサ (帰化植物)



ヨシ

その他の植物



アメリカフウロ (帰化植物)



イヌムギ



ウシオハナツメクサ (帰化植物)



オオジシバリ



カモジグサ



キショウブ



コウキヤガラ



ギシギシ



スズメノチャヒキ



セイトカアワダチソウ



ツルナ



ナヨクサフジ



ネズミムギ



ヒエガエリ



セイヨウタンポポ



ドクダミ



ナガミヒナゲシ